

INFORMATION

No. 30011

平成30年8月10日

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用
いただきたくご案内いたします。

当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねて
まいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申
し上げます。

敬白

記

【実施日】 平成30年8月16日（木）受付分より

【新規項目内容一覧】

項目 コード	検査項目	検査 方法	検体料	容器	基準値 (単位)	報告 日数	実施料 判断料
3166	Sd LDL-C (健診)	直接法	血清 0.5mL	① 血清用 真空採血管	なし (mg/dL)	3~5	なし

※ 主に健診目的でのご利用が考えられるため、「健診専用報告書」によりご報告させて
いただきます。



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1510

● sd LDL-C (健診)

「正常」～「要治療」までのレベルを専用報告書にてご報告いたします。

sd LDLコレステロールは小型で比重の大きい粒子です。また、肝臓にある受容体に対する親和性が低く、血液中での滞留時間が通常のLDLコレステロールよりも長いことから、酸化作用を受けて異物としてマクロファージに取り込まれやすいため、結果的に血管内皮下に沈着しやすいという特徴があります。

sd LDLコレステロールは冠動脈疾患および脳血管障害の強力な独立した危険因子であることが報告されており、動脈硬化の早期発見のマーカーとして期待されています。

▼疾患との関連

動脈硬化、冠動脈疾患
脳血管障害

▼関連する主な検査項目

酸化LDL (MDA-LDL)
レムナント様リポ蛋白コレステロール (RLP-C)

▼検査要項

検査項目名	sd LDL-C (健診)
項目コードNo.	3166
検体量	血清 0.5 mL
容器	① 血清用真空採血管
保存方法	血清分離後冷蔵保存。(血清分離が出来ない場合はそのまま全血で冷蔵)
所要日数	3~5日
検査方法	直接法
基準値 (単位)	なし (mg/dL)
検査実施料/判断料	なし

●参考文献

伊藤 康樹, 他: 日本臨床検査自動化学会誌 37 (1): 10~16, 2012. (検査方法参考文献)

今岡 渉: 新薬と臨床 67 (6): 82~93, 2018. (臨床的意義参考文献)

●専用報告書 (見本)

表面

スモールデンシトーム エルディーエール コレステロール
sd LDL-C (健診) 検査報告書

カルテNo.	氏名	性別	年齢	検査日	検査時間	検査科	先生

今回の検査結果は ≤ 3.9 と なります。

判定	説明	血管のイメージ
正常 ≤ 3.9 mg/dL未満	sd LDL-C値は正常範囲です。今後も正しい食生活・運動習慣を継続してください。	
軽度異常 3.9~9.9 mg/dL	sd LDL-C値がやや高いです。動脈硬化を予防し、生活習慣の改善による数値の低下を目指してください。	
軽症域 10.0~49.9 mg/dL	sd LDL-C値が高いです。中程度やLDL-Cコレステロールの値も高ければ動脈硬化の発症を心配する必要があります。	
要治療 ≥ 50.0 mg/dL	sd LDL-C値がかなり高いです。動脈硬化を予防し、生活習慣の改善による数値の低下を目指してください。	

製薬: 東京医科大学薬学部附属製薬 検査薬管理課 監製 先生
参考文献: 今岡 渉 先生(関西学院大学) 他: 新薬と臨床 67 (6): 82~93, 2018.
本報告書は、鑑定結果としてご利用いただくことはできません。
SDRL 株式会社 エスアールエル
0824-1807-01-4280

裏面

sd LDL-Cは、悪玉コレステロールと呼ばれ、心筋梗塞や脳梗塞の原因となる動脈硬化を引き起こす物質です。この数値が高いほど、リスクが高まります。

～生活習慣改善のポイント～

食事
1日3度の食事をきちんととり、朝食や夜食をひかえましょう。

運動
有酸素運動を継続的にいきましょう。継続的運動はsd LDL-Cを減らす効果があります。運動の種類としては、ウォーキングなどの有酸素運動が有効です。

喫煙
禁煙を行い、受動喫煙の回避をお勧めいたします。喫煙(受動喫煙)は動脈硬化性疾患を引き起こすもっとも大きな原因のひとつです。

担当医師にご相談ください

すでに何らかの病気を治療中の方は食事・運動について必ず担当医師にご相談ください。
*定期的にsd LDL-Cを測定し、前回の検査結果と比較して数値が下がっているか確認する4-5か月は、改善がみられない場合や、検査結果や不安な場合は担当医師にご相談ください。
監製: 昭和大学病院附属 昭和大学病院附属 検査科・代謝・内分泌科 平野 裕 先生